

平成25年 萩市議会3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	8	長 岡 肇太郎	2月25日午前
2	9	中 野 伸	
3	20	横 山 賢 治	午後
4	1	佐々木 武 夫	
5	10	広 兼 義 烈	
6	23	西 元 勇	2月26日午前
7	14	斉 藤 眞 治	
8	16	中 村 洋 一	午後
9	4	椋 晶 雄	
10	18	宮 内 欣 二	
11	24	世 良 眞名夫	2月27日午前
12	12	木 村 靖 枝	
13	3	西 中 忍	午後
14	2	関 伸 久	
15	5	大 村 赳 夫	

質問順位	1	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 商工行政	1. 新船「はぎおおしま」の就航に関し、関連施設整備等の進捗状況について 2. 離島効率化事業について		

質問順位	2	質問者	中野 伸 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 花と緑のまちづくりについて	1. 花と緑の名所づくりの推進について 菘・津和野観光ルート沿いを花と緑で飾ろう		
2. 景観対策について	1. ハピネスふくえ・道の駅前交差点の県道敷地内に街宣車が停車し、景観を損なうと感じられるが、その対応について		
3. 安全対策について	1. 市民病院駐車場が市道市立病院線の両側に位置しているが、外来者の安全確保の対策は		
4. 健康増進について	1. 健康体操の普及について ‘菘のなないろ,, ‘男なら,,		

質問順位	3	質問者	横山賢治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 合併後8年経過して	1. 2期8年間のまとめと、今後の課題について 2. 各地域の重点要望項目の実現状況について		
2. 職員採用について	1. 農業、防災の面から、周辺地域からの一定割合の採用枠は設けられないか		

質問順位	4	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 見島地区公衆トイレの設置、管理について	1. 宇津ゆりや橋付近の公衆トイレの維持管理について 2. ジーコンボ古墳付近公衆トイレの新設について		
2. 障がい者支援対策について	1. 心のケア支援に心配りの手を 2. 障がい者にやさしく、かつ、配慮した施設の整備について		
3. 萩市の低炭素化社会に向けての具体策について	1. プロジェクトチームの取組と今後の方針、方向性について 2. 再生可能エネルギー普及のための市民への助成措置の創設を		

質問順位	5	質問者	広 兼 義 烈 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩経済の再生について再度問う	<p>1 2月の一般質問の追加と市長答弁の内容の進展を求め次のことについて問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 窯業の生産額が低迷している。低迷の要因は何か問う。 2. 萩焼は萩市の顔でもある。振興策を問う。 3. 企業戦士としての人材育成（人こそ最大の資源）にどう取り組むのか。 4. 経済基盤である山陰道（萩ー益田間）建設に向けての動きについて問う。 5. 米依存型農業をどのようにして柔軟性のある農業に育成していくのか。（市の方針を農業関係者に浸透、理解してもらうことが急務） 6. 観光は裾野が広い産業という答弁のとおり、多くの可能性を秘めている。そこで、萩産の土産物づくりを強力に進めると同時に、その商品の売込を強力に進めてはどうか。 7. 誘致企業との進出協定が済み、明るい兆しが感じられる萩市、萩経済の再生にかける市長の思いを再度問う。 		
2. 中山間地域（農山村）の集落の維持に関して問う	<p>市の中山間地域の各集落は大変厳しい環境に置かれ、集落によっては遠からず消滅するのでは。 （中山間地域、消滅しそうな集落という私の尺度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域とは 地形が急峻で、土地利用や交通条件が不利で産業活動が停滞し、人口減少が他の地域より早く進む条件不利地域。 ・消滅しそうな集落とは 中山間地域にあって人的活力が失われた土地を利用した農林産物の生産が行われにくくなったのに加え集落機能が極端に低下している集落） <ol style="list-style-type: none"> 1. 中山間地域の集落の実態を把握しているのか。把握しているとしたら消滅しそうな集落はいくつぐらいあるか。 2. あるとしたら集落の維持にどのようにかかわっていくのか。 （集落営農、農事組合法人の取組が進んでいる集落では法人等が集落の維持に役立っている） 3. 合併して8年になる。中山間地域住民の意識は、身近にあった役場がなくなり遠い市役所になった。 		

	<p>合併してから職員が集落に来なくなった。 住民の悩みや不安を聞いても迅速に処理してもらえない。結果として、住民は合併により不便になった。見捨てられたと感じている住民も多い。</p> <p>こうした意識をどのようにして払拭するのか。</p> <p>4. 予算がなくてもできること 職員は時々集落に足を運ぶこと。集落を見つめること。是非実行していただきたいがいかがか。</p> <p>5. 婚姻率を向上させ後継者がいる地域社会の実現を。 市の婚姻率は県下の下位に低迷している。なんとかして率を向上させ出生者を増やさなくてはならない。 そこで、現行の取組の充実をはかるとともに他の方策も実施しては 例えば、男女の出会いの場づくり、世話好きおじさん、おばさんへの支援等。</p> <p>6. 市のどこに住んでいても、あまり不安なく生活できるようにするのが行政の責務と思う。 中山間地域が抱える問題が萩市だけの問題でないことも、合併によって突如生じた問題とも思っていない。しかし、以前より問題が深刻になるようでは合併の意義が問われる。今後の姿勢を問う。</p>

質問順位	6	質問者	西元 勇 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 選手名を冠したスポーツ大会の開催について		1. 萩市大井が生んだ第10回オリンピックロサンゼルス大会で400メートルリレー5位入賞の阿武巖夫氏の偉業を永く称えるため阿武巖夫記念陸上競技大会を開催し、市民一般・小中高生の陸上競技の育成に役立てられるお考えはないかお尋ねします。	
2. 大井公民館の施設・充実等について		1. 大井公民館備付けの冷暖房器具を中央方式から個別方式へ。加えて耐震化の進捗状況、さらには新公民館の建設についてお尋ねします。	
3. 大井浦養殖場跡地の有効利用と隣接する離岸堤の修復について		1. 大井浦養殖場跡地を活用した大井グラウンドゴルフ場の建設と隣接する離岸堤の修復についてお尋ねします。	

質問順位	7	質問者	齊藤真治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. バイオマスタウン事業の取組について		1. バイオマスタウン事業の取組について ・バイオマスを活用するまちづくりの取組	
2. 萩市の職員体制と安心・安全な職場環境づくりについて		1. 萩市定員適正化計画の進捗状況について ・業務量に応じた職員確保の取組 2. 教育職場、保育職場の安心・安全な職場環境づくりについて ・学校給食及び保育職場の安心・安全の対策への職員確保の取組	

質問順位	8	質問者	中村洋一議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 福祉行政(1)	<p>1. 障がい者の自立、就労支援の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「障害者優先調達推進法」が本年4月から施行されますが、萩市の取組の姿勢と取組状況について 		
2. 福祉行政(2)	<p>1. 高齢者世帯・障がい者世帯へのハーフボランティアの仕組みづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者のちょっとした困り事に、すみやかに対応できる仕組みについて 		

質問順位	9	質問者	椋 晶雄 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 山陰道について	<p>1. 山陰道萩・益田間の建設が期待される段階になりました。この段階で、特に沿道近くになると予想される市民の要望を国に届けておくことが必要と考えます。</p> <p>山陰道へのアクセス、安全対策、景観面への配慮などが計画に反映されることを期待したいと考えますが、市長のお考えをお尋ねいたします。</p>		

質問順位	10	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 急速に衰退する周辺部への対策をどう考えるか	<p>1. 合併後8年経ち、合併前から懸念されていた周辺部になった旧町村の急速な衰退が現実のものになっている。どのような対策を考えているか。</p> <p>2. 住民が参加し住民が決める事業と予算枠の確保</p>		
2. 教育現場から体罰＝暴力を一掃する取組について	<p>1. 教育現場における体罰＝暴力の実態をどのように把握しているか。</p> <p>2. 体罰＝暴力を一掃する取組をどのように進めるか。</p>		
3. 脱原発宣言と自然・再生可能エネルギーへの転換と農林水産業を中心とする産業振興の推進について	<p>1. 福島原発被害を受けた人たちへの支援と連帯を表明する脱原発宣言を行い、再生可能エネルギーによる地域振興に向けた総合的な取組を推進する考えはないか。</p> <p>2. 自然エネルギー発電のモデル施設を設置し、実証実験を行って市民の取組拡大を後押しする考えはないか。</p> <p>3. 農林水産業と連携し、自然エネルギー利用による収入確保を進める考えはないか。</p> <p>4. 萩市の施設に自然エネルギー施設の設置を進める考えはないか。太陽光、風力、水力などの発電施設、ペレット・チップ・薪ストーブ・ボイラーなど。</p> <p>5. 再生可能エネルギー利用設備の技術開発・販売に支援する考えはないか。</p>		

質問順位	11	質問者	世良眞名夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 道路維持管理について	1. 市内道路事情について		
2. 都市計画について	1. 浜崎臨港地区について		
3. 観光行政について	1. 明治維新 150 年に向けて萩市の観光戦略について		

質問順位	12	質問者	木村靖枝議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 防災行政		1. 萩市の公共施設の耐震化の状況について 2. 地域防災拠点施設の支援について	
2. 道路行政		1. 萩市に関わる東西南北の高規格道路整備の取組状況及び今後のスケジュール等について	
3. 総務行政 (萩市の施策)		1. 農業再生元年と位置づけられた平成24年度の事業の成果と今後の一次産業の取組について	

質問順位	13	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 明倫小学校移転後の校舎を含めた跡地利用について		<p>1. 明倫小学校の校舎は耐震化のため、現在、旧萩商業跡地に新築工事が行われていますが、新築工事と旧萩商業の既存校舎の改修工事が終了し、校舎移転が完了した後、この明倫小学校の校舎を含めた跡地をどのように利活用するかということは、萩市にとって大きな課題であると同時に、長期的かつ総合的な視点で考えていかななくてはならない問題だと私は思っています。</p> <p>また報道によると、市長が座長となり、懇談会が非公開で開催され、新年度からは、この懇談会が正式な委員会として立ち上がり校舎をすべて存続させる案で協議するとありました。</p> <p>そこで、この明倫小学校の校舎を含めた跡地利用について萩市として、どのような方向性・考え方をお持ちなのかお尋ねします。</p> <p>さらに、新年度から立ち上がろうとしている委員会に、市長は参加されるのでしょうか。また、この委員会委員の人选の基準はどのようなものなのか、併せてお尋ねします。</p>	

質問順位	14	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 中学卒業時の生徒の市外流出を食い止める為には、萩市立の中高一貫校の開設が必要だ。</p>	<p>1. 萩市内の中学校を卒業する生徒の市外流出が止まらない。市長もこれについては、懸念を示している。平成17年度に萩・阿武地域の高校に進学する割合は、約80%であったものの、直近の平成23年度には、約71%と急減している。生徒が、自身の能力をより十分に発揮できる場として、市外の高校を選択する。これは大変結構なことで、今回の質問は、そうした志の高い生徒の進路を妨げるものではない。</p> <p>しかし、その選択肢のなかに萩・阿武地域の高校の存在がなくなってきていることに大きな危惧を覚える。</p> <p>今こそ、魅力ある高等教育の場が必要である。</p> <p>また学問の分野であれ、スポーツの分野であれ、中学時代にその能力を開花させることができたのは、生徒本人の才能と努力もさることながら、教師の指導力に因るところが、実は極めて大きいのではないかと推察する。これは、萩市の教育現場における大きな武器ではないか。これを活用しない手はない。中学のみならず、高校のステージでも、その能力を如何なく発揮して欲しいと願う。</p> <p>そこで、萩・阿武地域の生徒の囲い込みと魅力ある高等教育の場として、萩市立の中高一貫校の開設を提言する。</p> <p>平成27年度には県内の公立高校進学における「5%ルール」がなくなると聞いている。これを具体的に説明すれば、山口高校に進学する際、その教育圏外から進学をしようとするれば、5%という高いハードルの中で競争をしなければならなかったものが、それが事実上、撤廃されるという。これは、生徒の市外流出を更に助長させるのではないかと。</p> <p>早い時点で生徒が市外流出すれば、経済効果も失われ、ますます萩地域の経済は疲弊をしてしまう。</p> <p>先に説明したとおり、優秀な素材(生徒)、そして指導力に長けた優秀な教師は、幸いにもここ萩市にいる。中高一貫校の開設により、独自プログラムで高い教育レベルを提供できれば、必然と市外から、ここ萩市に集まる生徒は出てくる。そして、経済効果も期待できる。</p> <p>今こそ、教育現場においても、山口県から予算と権限の</p>		

	<p>移譲を受け、中高一貫校を先駆的に手掛け、そのメリットを享受しよう。権限移譲を得意としている萩市ならできるはずだ。危機はすでに到来しており、手を拱いている暇はない。抜本的な対策がすぐにも必要だ。</p> <p>市長と、そして教育長の考えをお伺いしたい。</p>
<p>2. 企業誘致をしたトーフレ株式会社に費用対効果をどう担保させるか。</p>	<p>1. 先の協定式により、大阪市に本社を置くトーフレ株式会社の萩市川上への工場進出が正式に決定した。12月定例会の本会議上でも述べたとおり、最終的には150名もの新規雇用と工場新設の工事受注を萩市内の業者が受ける経済効果に期待し、この企業誘致はいい話として賛成した。なにせ約5億3,000万円もの予算を使うのである。そして、新設工場の土地は萩市が所有し、15年間もの超長期にわたり、無償貸与するのである。この費用対効果を強く求めたい。</p> <p>しかし、協定式において同社の社長は、工場の新設は、長門市か萩市の業者をお願いしたいと述べたそうである。これが本当であれば、とんでもない話である。</p> <p>今回の企業誘致にかかわる予算は、萩市が単独で拠出するものである。であれば、工事の受注業者は必然と萩市の業者になるのが筋であろう。これを行政としては、強く求めるべきであり、その責務がある。</p> <p>雇用も然り。工場立ち上げ時に90名、最終的に150名という雇用の履行をどういう形でモニタリングしていくのか。できない場合は、どうするのか。企業誘致の期待に湧く今こそ、議論を深めておきたい。</p>

質問順位	15	質問者	大村 赳夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市長選を控えて市長の抱負をきく	<p>1. 時代はレジームチェンジへの昂揚感とアベノミクスへの期待感のうちに動いています。 その方向感のさ中に市長選があります。</p> <p>市長選にのぞむ、市長の時代認識と抱負をきく。</p>		
2. 150th Anni. について	<p>1. 今年は文久3年から150年の記念年です。これよりご維新150年の記念年に向けて計画と準備が進捗します。</p> <p>ご維新150年記念年へ向けての方向感をきく。</p>		
3. 教育について	<p>1. 学校教育の現場で読解力向上のために、どのような施策が講じられていますか。 読解力（向上）は生きる力と同義です。 新年度の予算にどのように反映されていますか。</p>		